

がくしゅうかだい（2ねんせい）



【こくご】けいかくをたててすこしずつとりくんでいきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「たんぽぽのちえ」（きょうかしよ 42～47 ページ）にとりくみます。

- ① きょうかしよ 42～47 ページをこえに出して読みます。
- ② 「たんぽぽのちえ」には、「とき」（じかん・いつ）や「じゅんじょ」をあらわす言葉があります。たんぽぽは、「いつ」「どんなこと」をしていますか。このひょうにまとめましょう。
※ノートやとりくみシートに、ひょうをうつしてもいいです。

⑥	⑤	④	③	②	① 春になると、	いつ
					花がさく	どんなこと

- ※ 「いつ」のことばが見つからないときは、48 ページの下に①～⑥まで書いてあります。さんこうにして、まとめましょう。
- ※ 「どんなこと」は、1つでなくてもいいです。

- ③ 「たんぽぽのちえ」は、花がさいてからどうなるまでのことがじゅんばんで書かれた文しょうですか。□に言葉をいれてみましょう。
花がさいてから、 までのことをじゅんに書いています。

◆あたらしいかん字「高」～「多」（46～47 ページ）まで、とりくみます。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「どんなこと」が複数出てくる段落もあります。もし、余裕があれば、「どれが1番大事だと思う？」と声をかけてみてください。
- 例) 二・三日たつと→ ・花はしぼむ ・黒っぽくなる ・花のじくがたおれる
※次の文章とつながってくるのは「花のじくがたおれる」なので、これが1番大事な文章になります。
- ・③の「どんな順番で書かれているか」という問題では、最初の挿絵と最後の挿絵を見て、どう変化しているかを確認してみてください。

【さんすう】

「※」はべんきょうするときの先生からのアドバイスです。

<べんきょうすること>

◆たし算のきまりり（きょうかしよ 31～32 ページ）

かえでさん 8こ			みなとさん 6こ
----------	---	--	----------

かえでさん と みなとさんは、いちごを上の数だけ取りました。
あわせて 何こあるでしょうか。

かえでさん

$$8 + \square = \square$$

みなとさん

$$6 + \square = \square$$

あれ？
式はちがうけど、どちらも答えはどちらも同じになるよ？

 いつでも ^{こた}答えが^{おな}同じになるのかな？

45 + 26の計算をしましょう。
また、26 + 45の計算をして、
45 + 26の答えと 同じになるか たしかめましょう。

4	5
+ 2	6

2	6
+ 4	5

45 + 26 と 26 + 45の答えは（ 同じ ・ ちがう ）
*合うほうを○でかこもう。

計算をしないで、 答えが同じになる式を
見つけて ^{せん}線でむすびましょう。
また、答えが同じになるか ひっ算をして たしかめましょう。

$38 + 52$

$23 + 41$

$41 + 23$

$27 + 6$

$64 + 27$

$27 + 64$

$6 + 27$

$52 + 38$

＜この べんきょう 勉強で、わかったことや、きづいたこと、
おもしろかったところを、おうちのひとに はな お話してみよう。＞

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆たし算のきまり（教科書 P31～32）

- ・もし、時間があれば、たす順序によって数の合計は変わらないこと（交換法則）を、ブロックや図などを用いて具体的に説明できるように関わってほしいと思います。
- ・交換法則は、計算の確かめにも用いることができることにお子さんが気付いた時には、大いに褒めてあげてください。

【音がく】パソコンなどで、^{ばそこん}みたりきいたりできるひとは、とりくんでみましょう。

＜べんきょうすること＞

◆音のたかさのちがいをかんじとりながら、『ドレミのうた』（きょうかしよ 20～21 ページ）をうたいましょう。

(1) 『ドレミのうた』をききましょう。うたえるようになるまで、くりかえしききましょう。



(2) 手をつかって音のたかさをあらわしながら『ドレミのうた』の1ばんをうたいましょう。（どうがでやりかたをたしかめましょう。）



(3) 音のたかさに気をつけて『ドレミのうた』をうたいましょう。（きょうかしよ 21 ページのしゃしんを見て、しせいやひょうじょうをまねしてみましょう。）

◆『なべなべそこぬけ』（きょうかしよ 60 ページ）をきいたりうたったりしてあそびましょう。

(1) 『なべなべそこぬけ』をききましょう。



(2) 『なべなべそこぬけ』のあそび方を、どうがで見てたしかめましょう。



(3) うたいながらおうちの人とあそんでみましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

・音源のQRコードは＜学習課題6月1日～5日＞のページにも掲載しています。曲名を選択して、聞いてください。

https://cms.exn.city.sapporo.jp/cms8341/kyoiku/shido/syougakkou_6_1_5.html

・『ドレミのうた』は、音の高さの違いに目を向けて歌うことが大切です。教科書21ページの風船の挿絵を指さしながら歌うなどしながら、音が少しずつ高くなっていくこの歌のおもしろさを味わえるように関わってあげてください。

・かぞえうたや手遊びうたは、楽しく遊びながら日本の音階に親しむことのできるものです。『なべなべそこぬけ』は、ぜひお子様と一緒にあそんでみてください。2人でできるようになったら、3人・4人と、人数を増やして遊ぶこともできます。

【たいいく】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめてとりくみましょう。どうぐをつかうときは、かたいものやわれるものはつかわず、あんぜんにおこないましょう。

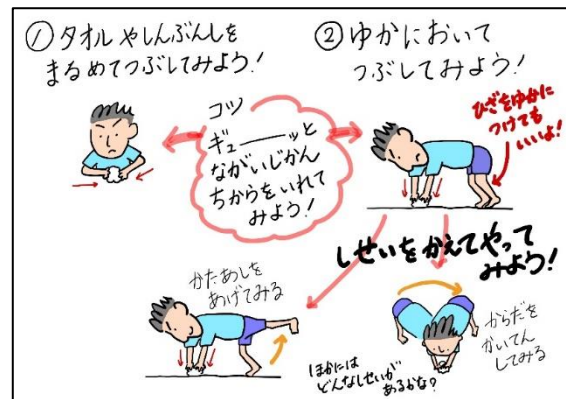
＜べんきょうすること＞

◆「ちからをいれるうんどう」にとりくみましょう。

- (1) ①「タオルやしんぶんしをまるめてつぶすうんどう」と、②「ゆかに
おいてつぶすうんどう」にチャレンジしてみましょう。

- (2) しせいをかえてチャレンジ
してみましょう。

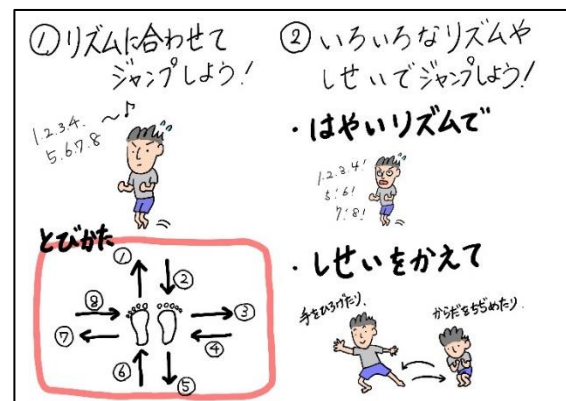
- (3) ほかのしせいもかんがえて、
チャレンジしてみましょう。



◆「リズムにあわせるうんどう」にとりくみましょう。

- (1) ①「リズムにあわせるジャンプ」
にチャレンジしてみましょう。

- (2) ②「いろいろなリズムやしせいでジャンプ」にチャレンジして
みましょう。



＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・体づくり運動は、運動の楽しさを味わいながら、体の基本的な動きを身に付けていくことを目指しています。また、自分に合った運動の行い方を工夫できるようにすることも大切にしています。
- ・失敗しても何度もチャレンジしたり、時間や距離を変えるなどの仕方をしたりする姿を、ぜひほめていただきたいと思います。

◆「ちからをいれるうんどう」

① タオルやしんぶんを
まるめてつぶしてみよう!

② ゆかにおいて
つぶしてみよう!

ゴツ
キュ——ッ
ながいじかん
ちからをいれて
みよう!

ひざをゆかに
つけても
いいよ!

かたあしを
あげてみる

しせいをかえてやっ
てみよう!

からだを
かいてん
してみる

ほおには
どんなせいか
あるかな?

◆「リズムにあわせるうんどう」

① リズムに合わせて
ジャンプしよう!

② いろいろなリズムや
しせいでジャンプしよう!

・はやいリズムで”

・しせいをかえて

とびがた

1.2.3.4.
5.6.7.8

1.2.3.4!
5!6!
7!8!

手をひろげた!

からだをちぢめた!